

## 今後の想定される検討事項（案）

### 1 アドホックグループによる追加検討

既存の無線システムの関係者の意向も踏まえ、追加の既存システムとの共用についても、アドホックグループによる詳細検討を行う。必要に応じて、UWB レーダ作業班構成員以外にも参加を要請する。

時期については、現在行っているアドホックグループの進捗状況を見つつ、検討に着手。

#### 追加検討すべきアドホックグループ（案）

共用検討を行う既存の無線システム	周波数帯
放送衛星	21.4～22.0 GHz
CATV 番組中継	23.2～23.6 GHz
衛星間通信	23.0～23.55 GHz／ 25.25～27.0 GHz
アマチュア無線	24.0～24.05 GHz
各種レーダ (移動体検知センサ、気象レーダ)	24.05～24.75 GHz
準ミリ波帯広帯域無線アクセス	24.75～25.25 GHz／ 27.0～27.5 GHz

### 2 電力マスク（案）の検討（不要発射レベルの検討）

推進側から提案された電力マスク（案）に基づき、不要発射の強度の許容値を検討する。検討にあたっては、既に制度化されているマイクロ波帯 UWB の不要発射レベルと整合性を図る必要がある（下表参照）。

必要に応じ、マイクロ波帯の既存無線システムとの間で不要発射レベルの検討を行う。

#### （マイクロ波帯 UWB における不要発射の強度の許容値）

周波数	平均電力	尖頭電力
1600MHz 未満	-90.0dBm/MHz 以下	-84.0dBm/MHz 以下
1600～2700MHz	-85.0dBm/MHz 以下	-79.0dBm/MHz 以下
2700MHz 以上	-70.0dBm/MHz 以下	-64.0dBm/MHz 以下
10600～10700MHz 11700～12750MHz	-85.0dBm/MHz 以下	-79.0dBm/MHz 以下

※上記の不要発射の強度の許容値は、室内利用を想定したもので壁減衰 12dB を見込んでいる。